

洪水・土砂災害 ハザードマップ 拡大図

ハザードマップを活用して安全な避難と自助意識を高めよう！

この「能美市 洪水・土砂災害ハザードマップ」は、避難するために必要な浸水情報、土砂災害(特別)警戒区域、避難場所などの各種情報をまとめたものです。もし、洪水が起こったら、ご家庭や学校、勤務先などの周辺がどのような状況になるのか把握し、日頃から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

水害のおそれのある時には、能美市から「高齢者等避難」、「避難指示」などの避難情報を発表する場合がありますので、指示に従って速やかに避難しましょう。

また、危険を感じたら、早めに自主避難を心掛けましょう。

2020年2月 能美市

(注意) ハザードマップは、想定したシミュレーションの結果であり、避難の際の目安としてご利用いただくものです。

ハザードマップの見方

区域など	避難所など	官公庁・病院など	避難の際に注意を要する箇所	想定される浸水の範囲と浸水深
- 市境界 - 水路、ため池等	- 指定避難所 - 洪水からの避難方向	- 市役所 - 消防署・分署 - 警察署・交番 - 病院	- 避難時注意箇所 - 土砂災害特別警戒区域 - 土砂災害警戒区域 - 家屋倒壊危険ゾーン(氾濫流) - 家屋倒壊危険ゾーン(河岸浸食)	- 浸水深10.0m以上の区域 - 浸水深5.0～10.0m未満の区域 - 浸水深3.0～5.0m未満の区域 - 浸水深0.5～3.0m未満の区域 - 浸水深0.5m未満の区域

拡大図もくじ

拡大マップ①	54	拡大マップ⑧	68
拡大マップ②	56	拡大マップ⑨	70
拡大マップ③	58	拡大マップ⑩	72
拡大マップ④	60	拡大マップ⑪	74
拡大マップ⑤	62	拡大マップ⑫	76
拡大マップ⑥	64	拡大マップ⑬	78
拡大マップ⑦	66	拡大マップ⑭	80

浸水の深さの目安



浸水想定区域・土砂災害(特別)警戒区域

【浸水想定区域について】

■国や県が公表した想定最大規模降雨とは、1,000年毎に1回発生する周期的な降雨ではなく、1年間に発生する確率が1,000分の1(0.1%)の降雨を表します。毎年の発生確率は小さいですが、規模の大きな降雨であることを示しています。この想定により手取川、梯川、八丁川、鍋谷川が氾濫した場合の浸水想定区域を重ね合わせて、最大の水深および最大の範囲を表示しています。

※浸水想定区域の指定年月日
手取川 平成29年(2017年)4月17日(国土交通省)
梯川 平成29年(2017年)4月17日(国土交通省)
八丁川 平成30年(2018年)7月26日(石川県)
鍋谷川 平成30年(2018年)7月26日(石川県)

■浸水の予想される区域およびその程度は、雨の降り方や土地の変化、河川の整備状況などにより変化することがあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

■想定し得る最大降水量

手取川流域 539mm/24時間
梯川流域 350mm/ 9時間
八丁川流域 813mm/24時間
鍋谷川流域 813mm/24時間

※注意 支川や隣接する他河川の氾濫のほか、想定を超える降雨や高潮、内水による氾濫等は考慮していません。

【土砂災害(特別)警戒区域について】

石川県が指定した土砂災害(特別)警戒区域をもとに表示しています。雨の降り方や土地の状態によっては、この地図に示した区域以外でも土砂災害が発生する可能性があります。

※土砂災害警戒区域のデータは石川県土木部砂防課より平成27年(2015年)10月23日告示のデータを使用しています。

